北関東

KITAKANTO

情報提供は下記に

東京支所

〒110―8722
台東区秋葉原2―3
☎03（5295）7437
ファクス
03（5295）7477

茨城県中央会
☎029（232）2074
群馬中央会
☎027（220）2046
栃木中央会
☎028（626）2305

今日の天気

⧄のち　降水確率（％）
◫時々　午前 午後 夜半

東京						
東京	☁／☀	10	10	10	32度	26度
					最高気温	最低気温
茨城						
水戸	☁／☂	10	50	30	33度	24度
つくば	☁	10	40	30	31度	23度
栃木						
宇都宮	☁｜☂	20	50	40	31度	23度
日光	☁｜☂	20	50	40	22度	17度
群馬						
前橋	☁	20	40	40	32度	24度
みなかみ	☁	20	40	40	28度	20度

野球教室で希望を

国際協同組合年茨城県実行委　福島の子ども招く

【いばらき】2012国際協同組合年茨城県実行委員会は14日、東日本大震災被災地支援活動の第2弾「福島子ども保養プロジェクト」を那珂市で開いた。「あつまれ！野球少年・少女」と題し、福島県の野球が大好きな子どもたちと保護者約80人を招待。プロ野球の西武ライオンズで活躍した石毛宏典さんによる野球教室などを通して勇気と希望を与えた。

県畜産農業協同組合連合会は、県銘柄牛「常陸牛」のステーキでもてなした。実行委員会は、協同組合キャラバン（金次郎隊）で募った募金を贈った。

石毛さんの指導に聴き入る子どもたち（14日、茨城県那珂市で）

水戸市のJA県農村研修館で開会式を行った後、一行は野球教室会場の那珂市の那珂総合公園野球場へ移動し、海野徹市長らの歓迎を受けた。海野市長は「皆さんと痛みを共有し、市を挙げて応援したい」と勇気付けた。JA県中央会の秋山豊専務は「逆境から立ち上がり、未来を切り開いていこう」とエールを送った。

野球教室には、福島県の「郡山アスレチックス」「まゆみベースボールクラブ」「ライナーズ」「上野ホワイトナイツ」、茨城県の「那珂ファイターズ」「那珂菅谷」「瓜連サンダース」「芳野スポーツ」が参加。

㈱石毛企画の代表で石毛野球塾の塾長として講演や技術指導を行っている石毛さんは「バランス、故障しない身のこなしを身に付けよう」と身ぶり手ぶりでアドバイスした。子どもたちは元気よく「はい」と答え、熱心に練習した。

福島県の子どもたちを引率する鈴木祐一さんは「子どもたちにとって本当にうれしい体験」と取り組みに感謝した。

15日は、つくば市の研究施設を巡るサイエンスツアーに参加する他、JA北つくば管内でトウモロコシの収穫体験や農産物直売所見学を楽しむ。

地域特性生かし　園芸作物を推進

JAうつのみや

【栃木・うつのみや】JAうつのみやはこのほど、JA本所で2012年度園芸作物推進会議を開いた。JA担当者ら50人が参加。前年度の推進実績を報告し、今年度の園芸作物推進計画を協議した。

JAは生産面積の拡大と販売金額の増加による農業経営の安定化を目指した園芸推進を展開し、5年目を迎える。11年度はジュース用トマト、ネギ、ショウガなどの栽培を推進し、栽培面積を972㌃拡大した。

12年度の計画では、地域性を考慮し、営農経済センターごとに地域の特徴に適した作物を推進す

ること
の連絡
ニーズ
振興の
進する
JA
「園芸
するこ
してほ
た。

加工用ナス出

品質維

栃木・JA佐野

【栃木・佐野】JA佐野はこのほど、加工用ナスの本格出荷を前に目ぞろえ会を開いた。JA全農とちぎや生産者ら12人が参加。規格や品質の維持、防除の徹底について確認した。

JA管内では8人が加

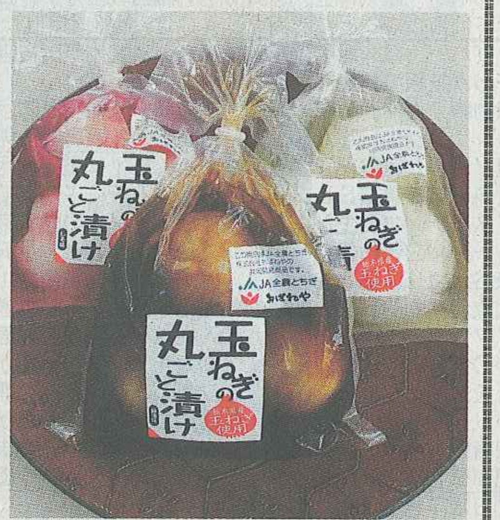
工用ナ
み、約
を予定
出荷
㈱荒井
約栽培
に漬物
る。出
く。

夏期限定

「玉ねぎの丸ごと漬け」販売

レシピ付きで今年も登場

全農とちぎ



好評の「玉ねぎの丸ごと漬け」3品（手前しょうゆ味、後方右ユズ味、同左シソ味）

夏期限定の「玉ねぎの丸ごと漬け」の販売が始まった。JA全農とちぎが、市場流通に乗りにくい小玉のタマネギを使用した商品開発を提案。地元企業の㈱おばねやが協力して完成した。販売3年目の今年は「サンドイッチでの食べ方」のレシピを付けるなど、内容を充実させて登場した。

原料の関係から、7、8月の期間限定販売。しょうゆ、ユズ、シソの三つの味が楽しめる。それぞれ、3玉を1袋とし、JR宇都宮駅ビル内「えきの市場」と道の駅「思川」で販売する。新たに那須ガーデンアウトレット「那須ロコマーケット」でも、16日に試食宣伝を行うなど、取り扱いを始める。

材料は、JAうつのみややJAはが野産のタマネギから辛味が少なく、生で漬けることに適した品種を厳選して使用。消費者から好評を得ていたこともあって、今年度は4000袋と昨年の倍を生産する計画。「夏にさっぱりと食べられる商品として仕上がった」とPRに努めている。（とちぎ）

菊　高品質出荷を

群馬・JAあがつま　花き生産部会

【群馬・あがつま】高冷地の特徴を生かした菊栽培を進めるJAあがつま花き生産部会はこのほど2日にわたり、部会員が出荷する坂上花卉（かき）集荷場と竜ヶ鼻花卉集出荷場で、目ぞろえ会を開いた。最盛期に一層の品質向上を目指し、出荷時の注意点や切り前などを再確認しようと、一輪菊とスプレイ菊の部会員をはじめ市場担当者や吾妻農業事務所担当者ら約65人が集まった。

品質向上に向けた取り組みとして、一輪菊では花首と天葉のバランスを整え、スプレイ菊ではハウス栽培で秋系品種を栽培しシーズンを通した安定出荷をするなど、栽培から出荷までの技術を日々進歩させている。

市場関係者と共に確認する部会員とJA職員

市場関係者は、品質には全く問題ないとし「物日に向けてしっかり出荷してほしい」と部会員に求めた。吾妻農業事務所普及指導課の樺沢和彦さんは出荷最盛期に菊の芯やつぼみに食害を与えるオオタバコガの注意対策を呼び掛けた。

同部会では、最盛期で1日当たり約3500箱を出荷。シーズンを通して約8万箱の出荷を計画している。今シーズンは春先の低温が心配されたが順調に生育し、盆などの物日に向け、一輪菊やスプレイ菊の出荷が始まっている。

夏の観光シーズンに向けて管理が終盤を迎える夏取りイチゴ（山梨県富士河口湖町で）

うちの一押し

夏取りイチゴ

山梨県富士河口湖町

摘み取り楽しんで

山梨県富士河口湖町の観光振興の拠点になっているハーブ館で、真夏のイチゴの摘み取り園の準備が終盤を迎えている。

町は年間で約800万人が訪れる観光スポット。ハーブ館は、遊休農地対策で農業と観光を結び付ける施設として、JA北富士と連携してベニバナやハーブを栽培する。2001年から新たな観光企画として、JAの提案で県、町、生産者らが連携し、イチゴの摘み取り園をオープン。ハーブ館では、イチゴを使ったさまざまな商品開発を手掛け、売店で販売している。

現在はハウス16棟を合わせて計45㌃で栽培。品種は四季なりの「エラン」。イチゴ狩りは、夏休みに入る直前の7月中に開園し、10月10日ごろまで続く。期間中はJAが運営する直売所の河口湖物産館でも入園券を取り扱う。

暑い夏に、イチゴ狩りが楽しめる所は関東近県でも同町だけ。さっぱりした酸味と、程よい甘味のバランスの夏イチゴは、観光の目玉としても期待が高まる。（山梨・北富士＝古屋善治通信員）

詐欺
茨城
結
【茨城
込め詐
たとし
日、J

感謝状
支店長
支店に
今月
に住む
孫に5
みたい
不審に
は上司
店と連
返し説
め詐欺
うど
栃木
若妻
【栃木
しもつけ
花会」は
うどん
た。会

一生懸